

実施概要

【地球温暖化対策】

資料	①次第、②座席表、③説明資料、④ワークシート
第1回 意見概要	<p>【テーマ①気候変動、温暖化を実感すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 夏が暑すぎる、夜になっても谷風が吹かず涼しくならない。 ● 紅葉の時期が遅くなるなど、季節感が変わってきている。 ● トマトのヘタの日焼けが増えた、作物の収穫時期の変化や不作が発生している。 ● 昔では考えられないほどの自然災害が頻繁に起きている。 <p>【テーマ②地球温暖化防止に向けて取組・実践していること、今後やりたいこと/省エネ、再エネなど】</p> <p><実践していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 再エネの有効活用、再エネ電力プランの利用。 ● 温室効果ガスを排出するガソリン車の使用を減らす、公共交通・自転車の利用。 ● ごみを減らす、不要なものは買わない。 <p><今後やりたいこと、必要なこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大人が危機感を持つ、持たせる。 ● 二酸化炭素を吸収する森林、里山の再生、環境保全型の農業の推進。 ● 取組の実施に対して市内で使えるポイントを付与。
第2回 意見概要	<p>【テーマ①あきる野市が目指す環境の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民参加型で自然保護や環境保全が進み、誰でも楽しめる遊歩道や登山道、川遊びなどの場所が提供されている。 ● 環境意識が高く、エネルギー消費を抑制する取組、再エネの利用、地産地消などが行われている。 ● 市の情報発信が活発で、市民参加型でゼロカーボンや田舎型の環境を守る努力が行われている。 ● 里山の循環利用などを通じて地域の経済と環境の両立が図られ、住民の生活の質向上が目指されている。 ● 市民の意識向上が地域改善に貢献し、住みやすいまちづくりが進められている。 <p>【テーマ②その実現に向けて必要な取組、イチオシのアイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民が参加しやすくするために、企業と連携して予算の問題を解決。 ● SNSを活用して、市の取組を広め、住民とのつながりを強化。 ● 効率的な支援や参加しやすいシステムを整えて、より多くの市民が活動に参加しやすくする。 ● 交通網を発展させて、自家用車の使用を減らす。JRとの連携で自転車移動を推進。 ● 大人向けの環境教育の機会を増やして、市民の環境意識を向上させる。 ● 環境保全型農業の消費促進で、持続可能な農業を支援。 ● あきる野市への移住を促進する特徴ある施策。

【循環型社会】

資料	① 次第、②座席表、③説明資料、④ワークシート
第 1 回 意見概要	<p>【テーマ①循環型社会(ごみ減量、資源の有効活用)に向けた取組・実践していること、今後やりたいこと】</p> <p><実践していること></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要なものだけを購入する。 ● フードドライブやフードバンク活動を通じて食品ロス削減を推進する。 ● 細かくごみを分別することでリサイクルの効率を高める。 <p><今後やりたいこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 企業とタイアップをしてリサイクルしやすい製品を作る。 ● 災害にも強い循環型のインフラや社会を地域でつくる。 ● 里山資源(竹・ナラ・スギ・捕獲害獣・堆肥等)を有効利用。 ● 5Rの徹底(不要なものは買わない、フードロス削減)。 ● 不法投棄を防ぐためにはごみ袋を無償化、ごみ量を減らすためには高価にする。 <p>【テーマ②取り組んでくれない人へのアプローチ、皆が取り組むための仕組み・工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SNS での発信やポイント制、ゲーム形式により市民の参加を促進する。 ● やらない理由を聞いてみる、押しつけにしない。 ● 市民同士のつながりを深め、コミュニティ活動を活発化させる。 ● リサイクル BOX やくるくるショップを増やし手軽に5Rに取り組む環境を整備。
第 2 回 意見概要	<p>【テーマ①あきる野市が目指す環境の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森や川を守り、地域資源を活用して持続可能な社会を目指す。循環型社会を実現し、災害に強いまちを作る。 ● 出産数を増やし、地域活性化を図る。人口流出を防ぐための価値提供。 ● せん定枝や廃プラを資源として活用、分別回収強化。 ● 資源活用を促進し、地域内の雇用創出。 ● 環境担当を各課に配置し、環境意識を全職員に浸透させる。 ● 5R の実践を市民に浸透させ、無駄のない生活を推進。 <p>【テーマ②その実現に向けて必要な取組、イチオシのアイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 継続的な循環システムをつくり、住環境のマッチングや空き家活用を促進。 ● 堆肥作成に対してポイントシステムを導入し、地域資源を活用。 ● 省エネや再利用(廃材、間伐材など)の促進。 ● 年長者の知識・経験を次世代に継承、子どもの体験学習。 ● 体験で終わらせず、継続的に続けていくために、楽しい取組であることが重要。 ● NPO 法人循環あきる野を設立し、市民が主体、市がサポート役として取組実施。 ● 資源を集めて人々が交流できるリサイクル・リユースの場を創出。

【生物多様性】

資料	①次第、②座席表、③説明資料、④ワークシート
第1回 意見概要	<p>【テーマ①あきる野市の自然環境の好きなところ・誇れるところ、気になること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 溪流(秋川溪谷等)や川、里山、深山、自然林、谷戸、湧き水、ジオ、など、様々な自然を身近に感じられる。 ● 自然と文化が結びついている。 ● 森林・竹林・里山の整備不足、開発等により自然環境が破壊。 ● 行政・住民・団体で行う協働事業がある。 ● 高齢化による森林・竹林・里山整備の担い手不足。 ● クマ・シカ・イノシシ等による影響が生じている。 <p>【テーマ②自然環境を守るための取組・実践していること、やりたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森や田等の管理、森林資源の利用、湧き水の保全。 ● 多摩産材をはじめとした山の恵みの利活用。 ● 自然の恵みを実感する、野生動物の暮らしを知る。 ● 子どもがより自由に川で遊び、学べるようにする。 ● 地産地消のために、地元産品の給食での利用や、販売等。 ● 自然環境に配慮した商品等の購入、地産地消の推進。 ● 行政による制度づくり、整備事業の地域住民への周知。
第2回 意見概要	<p>【テーマ①あきる野市が目指す環境の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 里山維持管理で多様な自然と環境に優しい林業が行われている。 ● 市民活動と協力して環境保全。新たな循環型コミュニティ構築。 ● 環境がつながり、多様な生物が共存。水質保持。 ● クマとの共存と野生動物保護を意識。 ● 行政が積極的に環境活動に参加、教育とサポート。 ● 市民参加型の自然保護と環境づくり。生物多様性について話し合う場を提供。 ● 山、川、里がバランスよく整備され、自然体験が可能。 ● 地産地消、クリーンエネルギー、ごみゼロ、森林資源活用。 <p>【テーマ②その実現に向けて必要な取組、イチオシのアイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小峰ビジターセンターや企業との連携、エシカル消費や地産地消の推進。 ● 市民農園支援や地元食材活用、農業教育の強化。 ● 野生動物に関する教育や対策の普及。 ● 里山体験や自然体験イベントを増やし、環境教育を実施。 ● サポート役として地域の活動をつなげ、ボランティアや市民活動を支援。 ● 環境活動のシンポジウム、SNS を活用した情報共有。 ● 地域での生物調査や保護活動、外来種対策。 ● 学校での環境教育や体験活動を通じて多様性への理解を深める。